

# 南島原市ゼロカーボンシティ宣言

18世紀の産業革命以降、私たち人類は石油や石炭等の化石燃料を大量に消費し、経済活動の拡大とともに豊かさや便利さといった恩恵を享受してきました。

一方で、地中から取り出された化石燃料は、燃焼の過程で大量の温室効果ガス（主に二酸化炭素）を生成し、大気中の濃度が上昇することで地球温暖化を引き起こしていると言われています。

世界各地では、地球温暖化に起因するとみられる豪雨や干ばつ、それらによる洪水や熱波、森林火災等の異常気象が頻発化、激甚化しながら発生しており、農作物や生態系への影響についても懸念が広がっています。

こうした状況を受け、2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」との長期目標を掲げた「パリ協定」が合意に達し、多くの国々で共有されました。

また、我が国においては、政府が2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を宣言し、2021年5月には、これらを基本理念として盛り込んだ改正地球温暖化対策推進法が成立しました。現在においては、多くの地方公共団体や民間企業において活発な動きが見られるようになっており、官民を挙げた脱炭素化の取組は大きなうねりとなって世界中に波及しています。

南島原市においても、地球温暖化は喫緊の重要課題であり、市民の健康や生命、財産を守るばかりでなく、この豊かで美しい郷土を未来に引き継いでいくためにも、脱炭素化の取組を早急かつ強力で推し進めていかなければなりません。

ついでには、本市も国際社会と歩調を合わせ、2050年脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくことの決意として、ここに「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和3年12月13日

南島原市長

松本政博